

岡崎市社会資本整備総合交付金評価委員会議事録

1 日時

令和 8 年 7 月 2 7 日（月） 9：30～

2 場所

岡崎市役所 西庁舎 7 階 704 号室
（オンライン会議にて開催）

3 評価委員

出席者

委員長：名城大学教授	鈴木 温 氏
委 員：名古屋大学教授	井料 美帆 氏
委 員：名古屋大学准教授	中井 健太郎 氏
委 員：名古屋市立大学教授	三浦 哲司 氏

4 事務局

土木建設部建設企画課副課長	萩原 浩晃
土木建設部建設企画課主査	小林 隆幸
土木建設部道路建設課係長	大橋 良
土木建設部道路建設課主査	鈴木 拓郎
土木建設部道路建設課技師	田中 洋志
経済振興部中山間政策課係長	犬塚 浩彰

5 傍聴人

なし

6 委員会次第

(1) 開会

委員長選任

(2) 議事

「地域再生計画～ものづくりあいちを支え、より住みやすく安全で活力あるまちづくり計画～」事後評価

(3) 閉会

7 配布資料

- ・事業説明資料

8 会議要旨

- (1) 本委員会は、「岡崎市附属機関等の会議の公開に関する要領」第2条に基づき、公開となることの説明
- (2) 委員長の選出、鈴木委員を委員長に選出
- (3) 議事（事務局説明、質疑応答）

9 議事内容

鈴木委員長	「地域再生計画～ものづくりあいちを支え、より住みやすく安全で活力あるまちづくり計画～」の事後評価について、事務局から説明をお願いします。
事務局	（「地域再生計画～ものづくりあいちを支え、より住みやすく安全で活力あるまちづくり計画～」の数値目標、実績、実現状況、評価について説明。）
鈴木委員長	事務局の説明事項でご意見等ありましたら、ご発言をお願いします。
三浦委員	まず、評価そのものに対して大きな異論があるということではありません。目標4の訪問者数のカウント方法について、例えば東公園ではどのようにカウントしているのか教えてください。 目標1に対する意見として、この事業でどれだけ効果があったのかというのが気になります。具体的に言うと例えば、昼夜、エリア、種別ごとの発生件数比較があるとこの評価をもっと具体的かつ詳細に行えると思います。
事務局	目標4の数値は東公園を含め、関係課が公表したデータに基づいて算出されており、具体的なカウント方法については直接把握しておりません。 目標1に対するご意見ありがとうございます。以降の計画にいただいたご意見を活かしていきます。
井料委員	本計画の評価について、異議等はありません。 目標1について、道路のバリアフリー化と交通事故件数の減少の関係性がずれている印象があります。しかし、岡崎市自体としての減少率は高くいい結果が表れていると思います。

	目標５の森林素材生産量の増加について、ご説明頂いた通り未達成ではありますが、翌年度に達成が確認できており、問題ないかと思います。
事務局	ご意見いただきありがとうございます。
中井委員	本計画の評価について、異議等はありません。 目標５について、未達成とはおっしゃっていましたが、１年遅れで目標値を達成していることは、むしろ継続的に事業を進めているということが表れていると思います。 事業路線一覧をみると、総延長がかなり増えている路線があります。これはどういうことなのかももう少し詳しく教えてください。
事務局	ご意見ありがとうございます。ご地元の合意形成ができた路線を先に進めた結果、この進捗となっています。また、市町村道総延長の中であれば、個別路線については、地方自治体で自由に設定できるとされています。
中井委員	本計画では、計画数量としていますが、もともとやる必要のある延長はもっとあり、進捗が計画より図られるから、後々やる予定の分も先に行ったということですか。
事務局	ご認識の通りです。
鈴木委員長	目標５では、未達成となりました。その理由が、林道の整備が少し遅れたとありましたが、当初のスケジュールで予見できなかったことや、不測の事態があったのではないかと思います。その点は、どうでしょうか。
事務局	人件費と物価の上昇により、事業費が上がったこと。令和５年度と６年度の施工部分は砂防区域であったため、調整池を追加で施工したことが、計画数量に届かなかった理由だと考えています。

10 結果

今回審議された１件の事後評価案が妥当であることを判断する旨、委員一致で採決された。